

# 令和元年度第1回評議員会議事録

1. 開催日時 令和元年6月25日(火)午後2時～午後4時

2. 開催場所 水月ホテル鷗外荘 富士の間

3. 出席者 評議員総数 17名

出席評議員 14名 林 良博 高橋茅香子 内山 晟  
久 邦彦 海老名香葉子 遠藤秀紀  
今泉忠明 林 公義 安藤元一  
打越綾子 今村保雄 大道和彦  
細岡 晃 佐野克彦

なお、評議員 打越綾子は午後3時、第1号議案審議前に退席した。

出席理事 3名

代表理事(理事長) 鈴木 勝

常務理事 日浦 憲造

常務理事 熊倉 伸一

出席監事 2名 木村 欣二 須賀 光一

出席顧問 3名 矢島 稔 朝倉 義信 藤井 芳弘

出席参与 1名 山下 博史

4. 議長 大道和彦

5. 決議事項

【第1号議案】平成30年度決算報告(案)について

【報告事項】平成30年度事業報告について

6. 議事の経過の要領及びその結果

本評議員会が定款第19条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を事務局より告げた。

定款第18条の規定に従い、出席した評議員の互選により大道和彦氏が議長に選出された。

議事録署名人については、評議員会規則第24条に基づき、当協会の総務部長が記名押印を行う旨を事務局より告げた。

その後、直ちに議案の審議に入った。

〔決議事項〕【第1号議案】平成30年度決算報告（案）について

〔報告事項〕【報告事項】平成30年度事業報告について

議長は第1号議案を上程し、令和元年6月4日に開催された理事会において承認された報告事項と合わせて事務局より別紙に基づき説明がなされ、動物の飼育・展示、野生生物の保全、教育普及、サービス提供、安全・安心の確保などについて主な取組が報告されるとともに、決算の概要について報告された。また、上野ツーリストインフォメーションセンター設置に係る特定準備資金の平成30年度の積立額について、計画変更を行い、10百万円のところ20百万円加算し、30百万円とすることが報告された。また、監事より監査報告がなされ、審議を経てその賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

なお、以下に審議の経過を記す。

（大道議長）ご質問があれば承りたい。

（高橋評議員）入場者数について質問したい。入園者数の割合は無料入園者数と有料入園者数が半々のようだが、協会として、今後どうしていきたいのか考えを聞かせてほしい。

（事務局）都立動物園では、小学生以下の子どもと都内の中学生は無料となっている。仰るとおり、総入園者数に占める無料入園者数は半分ほどの割合である。ここ数年の傾向としては、無料入園者となる低年齢層は少子化の影響もあるためか減少傾向である。一方、知的好奇心を満たしたい中高年の入園者層は増加傾向にあり、今後も増加が見込まれる。

（打越評議員）決算報告書の10、11Pに記載している経常費用を詳しく教えてほしい。人件費や研修費、旅費など多くの項目があるが具体的にどういった項目に支出しているか教えていただきたい。また、減価償却費について、獣舎などの公益目的事業の減価償却費よりレストランなどの収益事業の減価償却費が高くなっているのは何故なのか教えてほしい。

（事務局）減価償却費については、公益目的事業の建物は、一部を除いて東京都の資産として計上しており、減価償却しない。一方、収益事業で使用している建物は、民間企業同様に減価償却するため、公益目的事業と収益事業を比較すると収益事業の減価償却費が高くなっている。研修費については、海外研修を実施しているほか、指定管理事業、公益目的事業共に人材育成に力を入れているため、大きな金額となっている。また、経常費用で大きく占めているのは飼料費である。多摩のネコ科をはじめとした動物の繁殖が成功していること、また、世界的に肉の価格も高騰していることから、増加傾向である。

(林公義評議員) 野生生物保全基金について、助成対象の選定方法について教えていただきたい。

(事務局) 年に一度、国内外問わず公募を行った後、外部委員から構成される検討委員会にて助成対象の選定を行っている。

(海老名評議員) パンダは上野の町に大変の賑わいを創出しており、下町の裏まで訪日外国人がいて、パンダを見に来日した、という話を聞く。子パンダのおかげで上野の町は大変潤った。前上野動物園園長の土居氏と下谷観光連盟の会長が対談しており、パンダの誕生は大変めでたい、喜ばしいとのことだったが、私自身こんなに反応があるとは予想していなかった。町の活性化に繋がっている一方、訪日外国人の増加で大変混雑しており、日本の子ども達がパンダを観覧できていないのではと思う。この現象に反対しているわけではないが、和歌山等に比べて、なぜ上野動物園のパンダだけこんなに人気なのだろうか。宣伝効果なのか、特殊なパンダなのか、それとも日本人の国民性なのか。このパンダブームが続けばいいとも思う一方、誕生当初に比較すると、賑わいは少し落ち着いてきたとも思う。

(事務局) ご指摘のとおり、中国からの訪日外国人が増加している。また、和歌山や神戸の動物園にもパンダがいるが、上野動物園のパンダほど人気があるものは他にない。一方で、来園者に長時間お待ちいただくことで大変ご迷惑をかけている。上野の地域の皆様をはじめ、多くの方にシャンシャンの成長を見守っていただいております、応援いただいていることに心から感謝しつつ、少しでも混雑を解消して快適に観覧できるように努力していく。

(今泉評議員) 30年度の決算報告書 19P に記載している売掛金の項目について、クレジットカードの未回収額が 5000 万円以上と金額が大きい印象を受けるが、対策はなにかあるのか。

(事務局) この未回収金はクレジットカード会社から1ヶ月以内に協会に入金されるものである。金額が大きくなる要因としては、クレジットカードの取り扱いを導入したことと、ここ数年のキャッシュレス化に伴い、クレジットカードの利用者が増えている。また、シャンシャンの人気により来園者の購入単価もあがっており、高額な商品の売れ行きも好調であることも要因の一つである。

(遠藤評議員) 本当に大事なことが議論されていない印象を受ける。事務局の説明を聞いていると世界で一番の動物園・水族館である印象を受けるが、一方、こうした書類やデータに表れない部分として、若手の職員が育っているのか、人材育成ができていているという実感を持っているのか伺いたい。

(事務局) 平成 18 年度から指定管理者となり、10 年以上経験のある固有職員が生

まれてきており、3級職（主任級）の固有職員も増え、重要な役割を担うようになっている。いまだ主要なポストにはベテランの都派遣職員が多いのが現状だが、いずれ固有職員が重要ポストに配置されるようになって考えている。ベテラン職員と若手職員がタッグを組んで協会の発展に努めていきたい。

（遠藤評議員）その話を聞いて安心した。組織にとって一番大事なものは、働いている人間だと思う。人間がしっかりしてないと未来はない。パンダの人気により入園者数が増えて、次は違う動物の効果で入園者数が増えても、それは本質論ではない。東京都の動物園は、日本や世界を牽引していくような人材を育成しなければいけない。これは東京都の動物園、水族園の持つ強烈なアイデンティティであり、この協会で育成された人間が世界の動物園、水族館をつくっていかなければいけない。評議員会ではどうしても決算や予算、入園者数など、数値の議論の場になってしまいがちである。私が危惧している点として、他の自治体と比較すると、東京都では、研究やこれからの動物園をどう育てていくかという議論の場に、若手・中堅の人をほとんど見かけない。もし、若手の人間が現場の業務が多忙で、そうした場に参加できない、そんなことを考えている時間がないということであれば由々しき問題である。評議員の立場として願っていることは、協会には人材育成をしっかりと行ってほしい。期待している。

（事務局）水族園側の事情をお答えしたい。水族館施設は動物園施設と少し事情が違う。動物園に比べ、新規の水族館施設が増えており、アジア近辺を含めると、近年、水族館人を求める職員需要が増えている。水族館は人も動物も動くことが前提で、動く中でお互いに技術を高めあい、人材を育成していくべきであると考えている。

（遠藤評議員）水族館は動物園に比べ必然的に流動性が高いということが分かった。大学などの研究の分野だけでなく、今や一般企業のサラリーマンでも終身雇用がほとんどなくなってきており、組織をうつることは一般的になりつつある。雇用を不安定化すると、精神状態が不安定となる。結果、個人が優秀になるのではなく、エゴイスティック、利己的になると感じる。事務局の発言のとおり、組織から人が出たところで、自分たちにとって不利になると思う必要はない。若者の雇用を安定させていないと、利己的な中堅ばかりになる。人が他の組織に移ったときに惜しむことはあっても、残念なことではない。業界全体でみると悪いことでは決してなく、むしろ新しい世界がある。人材育成を怠ると物の見方が狭くなる可能性を危惧している。

（大道議長）そのほか発言がなければこのように決定したいが、異議はないか。

一同異議なし。

(大道議長) 提案のとおり、決定させていただく。

全会一致で議長発言のとおり可決した。

## 〔その他〕

### (1) 各園運営状況の報告

上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園、井の頭自然文化園の各園から近況報告した。

以上

議長は、以上をもって議事の全ての審議及び報告を終了した旨を述べ、午後4時閉会を宣し、解散した。

上記のとおり評議員会の決議を行ったので、これを明確にするため定款第23条に基づき本議事録を作成し、東京動物園協会総務部長が次に記名押印する。

令和元年6月25日

公益財団法人東京動物園協会

捺印

総務部長 .....宮本 均.....